

令和元年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立芝久保小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	22.20%	・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使えるようになっている。また、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかけることができる。	・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことや、内容を分けて書くことが課題である。
	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	43.10%		
	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	63.90%		
算数・数学	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	48.60%	・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することに長けている。また、無回答の割合が全国、東京都の割合に比べて少ない。	・算数の知識において、特に数量についての知識・理解が課題である。
	示された除法の式の意味を理解している	40.30%		
	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる	56.90%		
理科				

●児童・生徒の学力向上を図るための調査（小学校第5学年・中学校第2学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	場面の様子に気を付けながら物語の全体をとらえることができる	50%	・「自分の考え方が明確になるように、文章の構成を考えること」において、正答率が87%であった。また、「文や文章の中で、語と語や文と文との続き方を考えて書くこと。」において、正答率が93%であった。書く力が身に付いている。	・文章の読み取りに課題がある。 ・文を構成する言葉（主語、述語、修飾語）に着目して読むことが課題である。
	文の中の主語と述語について着目して読むことができる	43.20%		
	文の中のくわくする言葉とその言葉がどの言葉にくわくしているかについて着目して読むことができる	37.80%		
社会	東京都の主な特色ある地いきについて分かる	59.50%	・「地図中の土地利用の様子と土地の高さを結び付けて、土地の様子を読み取ること」において、正答数が90%であった。また、「東京都の土地の高さについて分かること」において、正答数が90%であった。等高線の理解が深まっている。	・自分たちの区市町村の位置について見つけることが課題である。 ・資料活用の技能が課題である。
	交通事故発生時の、通信指令センターにおける対処の様子を読み取ることができる	51.40%		
	自分たちが通う小学校がある区市町村の位置について分かる	18.90%		
算数・数学	時計のはりが動いた角度の測り方を考えることができる	45.30%	・「比べられる量を求めること」、「もとにする量を求めること」、「何倍かを求めること」において、それぞれ正答数は92%、76%、89%であった。割合の考え方が身に付いてきている。	・比較・関連付けて読み取る力や、意図や背景、理由を理解。解釈・推論して解決することが課題である。
	資料をもとにしてすじ道立考えることができる	45.30%		
	半径が直半径の1/2であることについて分かる	42.70%		
理科	物の体積を同じにしたときの重さをもとに、種類を考えることができる	37.30%	・「植物の成長の様子と観察記録から季節を考えること」において、正答数が88%であった。植物の理解が深まっている。	・科学的な思考・表現と観察・実験の技能が課題である。
	電気を通す物と通さない物が分かる	28%		
	回路のつなぎ方を変えたときの、モータの動きや速さを考えることができる	20%		
外国語 ※中学校のみ				